

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消費者放射性物質分析事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	コミュニティ課			
施策	2-5	賢い消費者の育成		主管課長	樋口 洋徳			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	消費者	意図	放射性物質分析器を設置し、消費者の食の安全・安心に関する不安に対応する。
事業内容	消費者が持ち込んだ食品等の放射性物質検査を実施し、消費者の食の安全・安心に関する不安に対応する。検査結果をホームページで公表する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成24年7月11日から検査申し込み受付を開始し、同年7月17日から検査を開始した。消費者の食の安全・安心に関する不安に対応するため、市内農家の農作物の検査を実施している農業振興課と連携し、検査の実施、結果の公表を行っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	放射性物質検査	69	13	16	件	↓↓↓
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 検査の結果、基準値の2分の1以上の値が検出された場合、持ち込んだ消費者の希望により外部機関に精密検査を依頼している。全ての検査結果をホームページで公表している。
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,876,665	2,334,091	431,440	
事業費(b)(円)	1,747,165	1,784,891	178,200	
うち一般財源	1,747,165	1,784,891	178,200	
職員給与費(c)(円)	1,129,500	549,200	253,240	
人役・職員(人)	0.15	0.08	0.02	
人役・再任用(人)			0.05	
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	消費者への周知徹底を図るため、広報等を利用する。	③取組の課題	消費者へ検査実施及び検査結果の周知徹底を図る
②今年度(H29)に実施した取組	関係部署と連携を図り検査の実施及び結果の公表をした。	④今後(H30以降)の改善計画	消費者の食の安全・安心のため関係部署と連携を図り、検査結果を公表を行う。